

平成 25 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6 4 6 0 東証第一部)
問 合 せ 先 グループ 代表室長兼グループ コミュニケーション室長
新 谷 省 二
(電話番号 0 3 - 6 2 1 5 - 9 9 5 5)

繰延税金資産の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 2 月 5 日に公表した業績予想（連結）を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想について

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 320,000	百万円 15,000	百万円 16,000	百万円 12,500	円 銭 51.24
今回発表予想 (B)	321,400	19,000	20,500	33,000	135.25
増減額 (B-A)	1,400	4,000	4,500	20,500	
増減率 (%)	0.4	26.7	28.1	164.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	395,502	58,384	58,164	21,820	86.73

1. 修正の理由

米国の一部連結子会社の清算終了に伴い、平成 25 年 3 月期に法人税法上の欠損金が発生することになりました。今後の業績見通しや課税所得の見積等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、欠損金について今後の課税所得より控除可能と見込まれる部分につき繰延税金資産を計上することから、法人税等合計額が約 145 億円減少する見込みです。

また、確定給付企業年金法の施行に伴い、当社の一部連結子会社の厚生年金基金の代行部分について、厚生労働大臣より過去分返上の認可を受けました。これに伴い、一部連結子会社は「退職給付会計に関する実務指針（中間報告）」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第 13 号）第 44-2 項に基づき、代行部分にかかる退職給付債務および返還相当額の年金資産の消滅を認識し、63 億円の代行返上益を特別利益として計上いたします。

以上の結果、当期純利益は前回発表予想を大きく上回る 330 億円となる見込みです。なお、売上高は概ね前回予想の通り推移しておりますが、営業費用の抑制によって営業利益は 190 億円（前回発表予想と比較して 40 億円の増加）、経常利益は 205 億円（前回発表予想と比較して 45 億円の増加）になる見込みです。

また、配当につきましては、期末配当 20 円、年間配当 40 円の予想から変更はございません。

※本資料に記載した数値や業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上